

本 会 記 事

一般社団法人日本植物病理学会令和7年度第1回評議員会議事録

日 時：令和7年2月5日（水）～2月12日（水）

開催方法：メール審議

出席者：

秋光和也, 秋野聖之, 青木孝之, 有江 力, 中馬いづみ, 藤 晋一, 古屋成人, 萩原寛之, 濱本 宏, 長谷 修, 曳地康史, 平田久笑, 平塚和之, 磯貝雅道, 稲田 稔, 海道真典, 兼松聡子, 小林括平, 児玉基一郎, 草場基章, 眞岡哲夫, 増田 税, 三瀬和之, 守川俊幸, 森山裕充, 中保一浩, 中島千晴, 大藤泰雄, 大里修一, 大島研郎, 大藤泰雄, 佐藤 衛, 志村華子, 篠原弘亮, 清水将文, 塩見 寛, 相馬 潤, 須賀晴久, 鈴木信弘, 高垣真喜一, 高野義孝, 竹本大吾, 竹下 稔, 東條元昭, 土佐幸雄, 津田新哉, 柘植尚志, 渡辺京子, 山次康幸, 吉田重信, 善林 薫, 一瀬勇規会長, 高橋英樹副会長, 染谷信孝庶務幹事長

以上評議員 54 名（定員 54 名）

幹事：佐々木信光庶務副幹事長, 富高保弘庶務幹事, 埋橋志穂美庶務幹事, 北沢優悟会計幹事, 加藤 寛副会計幹事

一般社団法人日本植物病理学会の令和7年度定時総会の開催に向けて、短期間内で評議員会を開催し、総会の招集方法及び議題について審議した上で、理事会で承認することが求められている。そこで時間的な制限に鑑み、メール審議（2月5日発信、2月12日回答期限）により評議員会が開催された。

審議事項

1. 総会開催方法について

今年度は大会と総会を同時開催することについて、異議はなく承認可決された。

2. 総会招集方法について

昨年度と同じく、電磁的方法（電子メールあるいはFAX）による委任状ならびに議決権を行使することについて、異議はなく承認可決された。上記手続きに必要な総会招集通知、委任状および議決権行使書の内容について、異議はなく承認可決された。

3. 定時総会参考書類ならびに総会決議事項について

定時総会における決議事項（第1～3号議案）および令和6年度第4回評議員会でお認めいただいた報告事項を含

む定時総会参考資料について、異議はなく承認可決された。

一般社団法人日本植物病理学会令和7年度第1回理事会議事録

日 時：令和7年2月15日（土）10:00～10:20

開催場所：オンライン会議（Teams）

出席者：

理事：一瀬勇規会長（代表理事）、秋野聖之、藤 晋一、兼松聡子、吉田重信、有江 力、平塚和之、須賀晴久、高野義孝、児玉基一郎、竹下 稔

以上理事 11 名（現員 12 名、欠席者 1 名：高橋英樹副会長（代表理事））

監事：濱本 宏、三田（渡辺）京子

以上監事 2 名（現員 3 名、欠席者 1 名：大島研郎）

オブザーバー：染谷信孝、佐々木信光、富高保弘、埋橋志穂美、北沢優悟、加藤 寛（幹事 6 名）

審議事項：

第1号議案 令和6年度第3回理事会議事録（案）の確認について

第2号議案 令和7年度定時総会通知、委任状、議決権行使書（案）について

第3号議案 令和7年度定時総会参考書類（案）について

第4号議案 その他

議事経過の概要

定刻に理事 11 名、監事 2 名が参加していることを確認した。定款第 32 条により、一瀬理事が議長となった。議長の挨拶の後、理事および監事の出席数から、定款 33 条の規定を満たしており、本会の成立を報告した。次に議長は、本理事会はオンライン会議システムにより開催することを説明し、かつ出席者の映像及び音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な審議を行うことができる状態であることが確認された。

1. 令和6年度第3回理事会議事録（案）の確認について

令和6年度第3回理事会議事録について確認され、特に意見はなく承認可決された。

2. 令和7年度定時総会通知、委任状、議決権行使書（案）について

令和7年度定時総会収集通知、委任状、議決権行使書（案）について確認され、特に意見はなく承認可決された。

3. 令和 7 年度定時総会参考書類（案）について

議長より、令和 7 年度定時総会参考書類（案）について説明され、会員の逝去について修正がある旨説明があった。その他については、出席理事は全員異議なくこれに賛成の意を示し、承認可決された。

4. その他、報告事項について

兼松理事より、名誉会員の石井英夫氏の逝去についてお悔やみの言葉が述べられた。

一瀬会長より、総会と授賞式の間に理事会を開催することが確認され、欠席者は事前連絡するよう説明があった。

以上をもって、本理事会は終始異状なく議事を終了したので、議長は閉会を宣言し、10 時 20 分に散会した。

上記の事項を明確にするため、議長が本議事録を作成し、出席代表理事 1 名および監事 2 名の全員がこれに記名押印する。

令和 7 年 2 月 15 日

一般社団法人 日本植物病理学会

代表理事（会長）

一瀬 勇規

監事

濱本 宏

監事 三田（渡辺）京子

一般社団法人 日本植物病理学会 令和 7 年度定時総会議事録

1. 開催日時：令和 7 年 3 月 26 日（水）午前 9:00～

2. 開催場所：サンポート高松

〒760-0019 香川県高松市サンポート 2-1

3. 個人会員（社員）数 現在 1,525 名

書面による出席の個人会員（社員）数 221 名

うち、委任状提出 191 名

議決権行使書提出 30 名

4. 出席者

本総会は、定款第 18 条に定める委任状による代理出席および令和 7 年度第 1 回理事会（令和 7 年 2 月 15 日開催）において決定された書面並びに電磁的方法による議決権行使に加えて、開催会場において、議長、議事の運営を担当する者、理事 9 名及び監事 2 名、更に現地参加会員を出席者として対面方式にて議事説明を行った。

（役員：現員は理事 12 名、監事 3 名）

出席理事：一瀬勇規（会長）、高橋英樹（副会長）、兼松聡子、吉田重信、有江 力、平塚和之、須賀晴久、高野義孝、竹下 稔

（欠席：秋野聖之、藤 晋一、児玉基一郎）

出席監事：大島研郎、三田（渡辺）京子

（欠席：濱本 宏）

（議事運営を担当した会員）

染谷信孝（庶務幹事長）、佐々木信光（庶務副幹事長）、富高保弘（庶務幹事）、埋橋志穂美（庶務幹事）、北沢優悟（会計幹事）、加藤 寛（副会計幹事）、松下陽介（次期庶務副幹事長）、藤本岳人（次期庶務幹事）、浦山俊一（次期副会計幹事）

5. 決議事項

第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告ならびに会計報告（案）承認の件

第 2 号議案 評議員選挙規定の一部改正（案）承認の件

第 3 号議案 令和 7 年度 役員（理事）選任の件

6. 報告事項

第 1 号 令和 7 年度事業計画書ならびに収支予算書

7. 議事経過の概要

1) 定足数の確認等

染谷庶務幹事長が委任状、議決権行使書を含む定足数の充足を確認し、本会議の議事進行および議案資料について説明した。

2) 議案の審議状況および議決結果等

定款第 16 条の規定により、一瀬勇規会長が議長となった。挨拶の後、書面ならびに電磁的方法による出席の個人会員数が 221 名、会場参加者と合わせて定款第 18 条に定める個人会員数の 1/20 名以上の出席を得たことを報告し、本会の成立を宣言した。

議長は議事録署名人として、佐々木庶務副幹事長を指名した。

（決議事項）

第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告ならびに会計報告（案）承認の件

議長の指名により富高庶務幹事が、令和 6 年度事業報告書の内容を説明した。会員数、学会報出版状況、総会・委員会等開催状況、大会・部会・研究会等開催状況、功績者推挙、学会賞等の授賞、副会長候補者選出選挙の結果等について報告した。

続いて、議長の指名により北沢会計幹事が、令和 6 年度会計報告の内容を説明した。収支計算書および計算書類（正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録）を基に、令和 6 年度決算の概要を報告した。

次いで、議長の指名により大島監事が、令和 6 年度事業報告ならびに会計報告について、監事 3 名（濱本監事、大島監事および三田（渡辺）監事）により監査した結果、両報告の内容は正確かつ妥当であり、理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な

事実は認められなかった旨を報告した。

最後に、議長の指名により磯貝編集委員長が、令和6年度学会報編集報告の内容を説明した。編集計画通り、英文誌6号、和文誌4号を発行した旨を報告した。

議長は第1号議案について、疑義および反対とする意見がないことを確認し、賛成多数であることから、第1号議案が原案通り可決したことを説明した。

第2号議案 評議員選挙規定の一部改正（案）承認の件

議長は、評議員規定第3条第2項により、当法人の評議員選挙規定における被選挙権を有しない会員の年齢定義の説明が不十分であることを述べ、第2項に選挙の実施される事業年度の4月1日時点で65歳に達している者が被選挙権を有しないことを明確にする必要を述べた。

議長は第2号議案について、疑義および反対とする意見がないことを確認し、賛成多数であることから、第2号議案が原案通り可決したことを説明した。

第3号議案 令和7年度 役員（理事）選任の件

議長は、定款第25条の規定により、当法人の理事が本定時総会の終結をもって任期満了となり退任するため、その後任理事を選任する必要がある旨を述べ、役員候補者選出規程に基づき、以下に記載の12名がこの後任理事候補者であることを報告した。

(1) 役員候補者選出規程第3条の規定による「理事候補者（次期会長候補者）」

高橋英樹

(2) 役員候補者選出規程第4条の規定による「理事候補者（次期副会長候補者）」

眞岡哲夫

(3) 役員候補者選出規程第2条第2項の規定による「理事候補者」

秋野聖之、藤 晋一、兼松聡子、吉田重信、有江力、平塚和之、須賀晴久、高野義孝、児玉基一朗、竹下 稔

議長は第3号議案について、候補者全員の一人ひとりについて、書面ならびに電磁的方法による出席者221名および会場参加者の議決権の過半数をもって賛成の意を示したことから、第3号議案が原案通り可決したことを説明した。続いて、議長は当該被選任者全員が、議案が可決した場合には承諾する意思があることを説明し、理事の選任が確定した。

（報告事項）

第1号 令和7年度事業計画書ならびに収支予算書

議長より、令和7年度事業計画書ならびに収支予算書は、令和6年11月23日開催の令和6年度第4回理事会

にて承認され、成立したことが報告された。

議長の指名により、令和7年度事業計画書については埋橋庶務幹事から、収支予算書については加藤副会計幹事から、学会報編集計画案については磯貝編集委員長より概要が報告された。

議長は、以上をもって本総会は終始異状無く本日の議事を終了したことを述べ、午前9:35閉会した。

以上の議事が正確であることを証するため、議長が本議事録を作成し、定款第19条の規定により、議長および議事録署名人が記名押印する。

令和7年3月26日

一般社団法人 日本植物病理学会

議長・議事録作成者 一瀬勇規 ㊞

議事録署名人 佐々木信光 ㊞

一般社団法人日本植物病理学会令和7年度定時総会参考書類
令和7年3月26日

於 サンポート高松

令和7年3月26日（水）開催の令和7年度定時総会にあたり、次の通り議案を提出いたします。

「決議事項」

第1号議案 令和6年度 事業報告ならびに会計報告（案）承認の件

1. 事業報告
2. 会計報告（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）
3. 監事監査報告
4. 学会報編集報告

第2号議案 評議員選挙規定の一部改正（案）承認の件

第3号議案 令和7年度 役員（理事及び監事）選任の件

「報告事項」

第1号 令和7年度事業計画書ならびに収支予算書

1. 行事案
2. 予算案
3. 学会報編集計画案

第1号議案 令和6年度 事業報告ならびに会計報告（令和7年度事業は斜体（参考））

1. 事業報告

(1) 会員数 計1,721名（令和7年1月1日現在）

名誉会員33名／永年会員67名／正会員1,110名（内

外国会員 10 名)／学生会員 283 名／学部生会員 32 名
／準会員 92 団体／賛助会員 41 社 (104 口)
(令和 6 年 1 月 1 日当時：会員数 1,692 名)

(2) 会員のご逝去

倉橋良雄氏 ー
堀尾英弘氏 令和 5 年 10 月
後藤正夫氏 令和 6 年 3 月 26 日
齋藤 泉氏 令和 6 年 5 月 16 日
濱屋悦次氏 令和 6 年 6 月 22 日
遠藤武雄氏 令和 6 年 7 月 11 日
渡辺 實氏 令和 6 年 7 月 23 日
内藤繁男氏 令和 6 年 8 月 6 日
石井英夫氏 令和 7 年 2 月 12 日
長井雄治氏 令和 7 年 2 月 23 日
高橋 壯氏 令和 7 年 2 月 26 日
野津幹雄氏 令和 7 年 3 月 2 日

(3) 学会報編集データ

行部数 英文誌：第 90 巻 1～6 号 各 350 部
(計 2,100 部)
和文誌：第 90 巻 1～4 号 各 500 部
(計 2,000 部)
頒布部数 英文誌：国内 (1～6 号) 各 296 部
(計 1,776 部)
国外 (1～6 号) 各 32 部
(計 192 部)
計 各 328 部
(計 1,968 部)

[内 国外交換 23／国外寄贈 4／名誉会員 27／永年会員 4／
賛助会員 62／準会員 91／ (計 211)]

和文誌：国内 (1～4 号) 各 434 部
(計 1,736 部)
国外 (1～4 号) 各 27 部
(計 108 部)
計 各 461 部
(計 1,844 部)

[内 国内交換 4／国内寄贈 8／広告主 3／名誉会員 28／永
年会員 59／賛助会員 62／準会員 91／ (計 255)]

(4) 総会・役員会

令和 6 年度第 1 回評議員会 令和 6 年 2 月 6 日
令和 6 年度第 1 回理事会 令和 6 年 2 月 14 日
令和 6 年度定時総会 令和 6 年 3 月 23 日
令和 6 年度第 2 回理事会 令和 6 年 3 月 23 日
令和 6 年度第 2 回評議員会 令和 6 年 3 月 23 日
令和 6 年度第 3 回評議員会 令和 6 年 8 月 9 日

令和 6 年度第 4 回評議員会
令和 6 年度第 3 回理事会
令和 7 年度第 1 回評議員会
令和 7 年度第 1 回理事会

(5) 委員会等開催状況

幹事会 令和 6 年 1 月 20 日
2 月 3 日
3 月 2 日
3 月 21 日
5 月 18 日
7 月 6 日
9 月 7 日
11 月 9 日
令和 7 年 1 月 11 日
2 月 1 日
3 月 1 日
3 月 25 日
将来問題検討委員会 令和 6 年 2 月 27 日
6 月 12 日
10 月 20 日
令和 7 年 2 月 20 日
編集委員会 令和 6 年 3 月 12 日
令和 7 年 3 月開催予定
賞選考委員会 令和 6 年 9 月 7 日
功績者推薦委員会 令和 6 年 9 月 26～30 日
選挙管理委員会 令和 6 年 10 月 23 日
病名委員会 令和 6 年 3 月 13 日
令和 7 年 3 月開催予定
学会ニュース編集委員会 令和 6 年 3 月 14 日
4 月 9 日
7 月 7 日
10 月 9 日
令和 7 年 1 月 9 日
植物ウイルス分類委員会 令和 7 年 1 月 7 日
国際化対応委員会 令和 6 年 11 月 18 日
技術士対応委員会 令和 6 年 1 月 11 日
令和 6 年 11 月 25 日
5 学会技術士育成推進委員会 令和 7 年 2 月開催予定
ダイバーシティ推進委員会 令和 6 年 4 月 24 日
9 月 10 日
10 月 24 日
12 月 26 日
令和 7 年 3 月開催予定
学会運営方針諮問委員会 令和 7 年 3 月開催予定

- 広報委員会 令和6年 3月14日 令和6年10月17~18日
(6) 大会開催状況 文部科学省研究交流センター(つくば市)
- 大 会 令和6年3月13~15日 ハイブリッド開催(仙台国際センター) 第30回植物細菌病談話会
参加者: 828名, 一般講演: 308題 令和6年11月20~21日
文部科学省研究交流センター(つくば市)
- (7) 部会開催状況 (9) 名誉会員の推挙
- 北海道部会 令和6年10月12~13日 北海道大学 第4回評議員会で、次の方を総会に推挙することが決定された(ABC順).
(札幌市) 川北一人氏, 夏秋啓子氏, 夏秋知英氏
参加者: 40名, 一般講演: 12題
- 東北部会 令和6年9月19~20日 山形大学(山形市) (10) 永年会員の推挙
参加者: 69名, 一般講演: 20題 第4回評議員会で次の方を総会に推挙することが決定された(ABC順).
伊藤進一郎氏, 諸見里善一氏, 西口正通氏, 田中秀平氏
- 関東部会 令和6年9月13日 東京農工大学(府中市) (11) 令和7年度学会賞
参加者: 148名, 一般講演: 30題 第4回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された(ABC順).
白須 賢氏 「植物免疫システムの分子機構解明と病原体ゲノムに関する研究」
- 関西部会 令和6年9月19~20日 愛媛大学(松山市) 宋戸雅宏氏 「土壌伝染性の糸状菌および線虫の発生生態に関する研究」
参加者: 168名, 一般講演: 88題 吉岡博文氏 「植物の免疫応答における活性酸素シグナルに関する研究」
- 九州部会 令和6年11月14~15日 アバンセ(佐賀市) (12) 令和7年度学術奨励賞
参加者: 44名, 一般講演: 15題 第4回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された(ABC順).
足助聡一郎氏 「いもち病菌の菌群分化ならびにムギ類の抵抗性に関する分子遺伝学的研究」
- (8) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況 湊 菜未氏 「虫媒伝染性病原体の発生生態と病原性に関する研究」
第17回バイオコントロール研究会 佐藤有希代氏 「ネオライフスタイルを持つ糸状菌ウイルスの分子生物学的研究」
令和6年3月16日 東北大学(仙台市)
- 第15回植物ウイルス病研究会 (13) 令和7年度論文賞
令和6年3月16日 東北大学(仙台市) 第4回評議員会で次の2件に授賞することが決定された(掲載順).
第33回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム Ayane Kanaizuka, Ryota Sasaki, Shuhei Miyashita, Sugihito Ando, Kumiko Ito, Toshiyuki Fukuhara, Hideki Takahashi. Isolation of *Burkholderia* jumbo phages and their utilization as biocontrol agents to suppress rice seedling rot disease. *Journal of General Plant Pathology* 89(1): 24-34 (2023)
- 第23回植物病原菌類談話会 Kenji Kubota, Yasuhiro Tomitaka, Tomio Usugi, Hiroyuki Hamada, Hiroki Ito, Atsushi Kuwana, Shinya Tsuda. Molecular characterization of a new geminivirus isolated from tomato with curly top symptoms and development of its infectious clone. *Journal of General Plant Pathology* 89(2): 100-108
令和6年6月22日 オンライン開催
- 第58回植物感染生理談話会
- EBC研究会ワークショップ2024
- 令和6年9月1~3日 名古屋大学(名古屋市)
- 令和6年9月12~13日 東京農業大学(厚木市)
- 第18回植物病害診断教育プログラム
- 令和6年9月23~27日 横浜国立大学(横浜市)
- 第31回土壌伝染病談話会

- (2023)
- (14) 令和 6 年度日本農学進歩賞，日本学術振興会賞等の
受賞候補者推薦
日本農学進歩賞受賞候補者選考細則等に準じて，各受賞
候補者を推薦した。
- (15) 令和 6 年度関連学会等の受賞者
以下の会員が受賞した。
2024 年度日本農学賞／読売農学賞
有江 力氏 「土壌伝染性フザリウム菌の分子系統と
発病・病原性分化機構に関する研究」
2024 年度（第 23 回）日本農学進歩賞
荒添貴之氏 「植物病原糸状菌におけるゲノム編集技
術の開発と応用」
2024 年度（第 5 回）日本微生物学連盟「野本賞」
浦山俊一氏 「RNA ウイルスの生態学的研究」
- (16) 令和 7 年度副会長候補者選出選挙
令和 6 年 9～10 月施行（開票は 10 月 23 日），眞岡哲夫
氏が選出された。

2. 会計報告

(1) 一般会計収支計算書（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	16,577,000	16,244,000	333,000
正会員会費収入	9,415,000	9,024,000	391,000
学生会員会費収入	527,000	596,000	△ 69,000
学部生会員会費収入	30,000	28,000	2,000
外国会員会費収入	30,000	16,000	14,000
準会員会費収入	1,425,000	1,380,000	45,000
賛助会員会費収入	5,150,000	5,200,000	△ 50,000
会報刊行収入	2,613,000	2,545,301	67,699
頒布収入	2,540,000	2,334,001	205,999
広告料収入	58,000	178,000	△ 120,000
著者負担金収入	15,000	33,300	△ 18,300
事業収入	16,750,000	18,011,700	△ 1,261,700
大会運営収入	10,620,000	12,604,500	△ 1,984,500
部会収入	2,342,000	2,316,200	25,800
談話会・研究会収入	2,870,000	2,325,000	545,000
教育プログラム収入	918,000	766,000	152,000
雑収入	202,000	2,159,901	△ 1,957,901
預金利息収入	2,000	6,939	△ 4,939
雑収入 ※	200,000	2,152,962	△ 1,952,962
事業活動収入計	36,142,000	38,960,902	△ 2,818,902
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	8,995,000	8,661,051	333,949
印刷製本費支出	5,345,000	5,275,043	69,957
編集費支出	3,650,000	3,386,008	263,992
事業支出	17,582,000	15,605,480	1,976,520
大会支出	10,620,000	10,422,820	197,180
部会支出	2,527,000	2,401,324	125,676
談話会・研究会支出	3,336,000	1,945,110	1,390,890
教育プログラム支出	1,099,000	836,226	262,774
学術奨励関係費支出	750,000	709,630	40,370
国際学術交流費支出	300,000	0	300,000
情報電子化費支出	1,122,000	703,880	418,120
HP 充実費支出	430,000	256,575	173,425
情報維持費支出	692,000	447,305	244,695
男女共同参画支援費支出	0	0	0
ダイバーシティ推進支援費支出	400,000	0	400,000

負担金支出	630,000	687,326	△ 57,326
男女共同参画学協会連絡会負担金支出	10,000	15,000	△ 5,000
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	120,000	111,350	8,650
植物保護科学連合負担金支出	0	0	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金支出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	300,000	360,976	△ 60,976
事業運営費支出	1,020,000	2,356,380	△ 1,336,380
会議費支出	250,000	227,380	22,620
旅費交通費支出	300,000	1,709,000	△ 1,409,000
各種委員会関係費支出	470,000	420,000	50,000
管理費支出	5,010,000	4,915,935	94,065
通信運搬費支出	400,000	456,781	△ 56,781
消耗品費支出	100,000	17,098	82,902
事務管理費支出	3,190,000	3,190,000	0
印刷費支出	150,000	147,290	2,710
外部監査管理費支出	300,000	286,274	13,726
雑支出	870,000	818,492	51,508
事業活動支出計	35,809,000	33,639,682	2,169,318
事業活動収支差額	333,000	5,321,220	△ 4,988,220
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
学術事業安定基金取得支出	0	0	0
学術奨励基金取得支出 ※	0	2,000,000	△ 2,000,000
固定資産取得支出	1,656,000	1,408,000	248,000
投資活動支出計	1,656,000	3,408,000	△ 1,752,000
投資活動収支差額	△ 1,656,000	△ 3,408,000	1,752,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収入計	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 1,323,000	1,913,220	△ 3,236,220
前期繰越収支差額	14,686,731	15,483,891	△ 797,160
次期繰越収支差額	13,363,731	17,397,111	△ 18,720,111

※遠藤武雄氏、諸見里善一氏からのご寄付による収入を学術奨励基金に組み込み

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、仮払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	17,044,260	17,808,425
未 収 金	936,000	689,000
前 払 金	0	360,976
仮 払 金	4,252,800	4,213,545
合 計	22,233,060	23,071,946
未 払 金	1,150,659	35,000
前 受 金	5,034,000	5,213,835
預 り 金	510	0
仮 受 金	564,000	426,000
合 計	6,749,169	5,674,835
次期繰越収支差額	15,483,891	17,397,111

(2) 貸借対照表（令和 6 年 12 月 31 日現在）

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,808,425	17,044,260	764,165
未収金	689,000	936,000	△ 247,000
前払金	360,976	0	360,976
仮払金	4,213,545	4,252,800	△ 39,255
流動資産合計	23,071,946	22,233,060	838,886
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
学術事業安定化基金	30,021,680	30,021,680	0
学術奨励基金	21,356,274	19,356,274	2,000,000
国際学術交流基金	13,459,261	13,459,261	0
特定資産合計	64,837,215	62,837,215	2,000,000
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	1,895,483	1,046,650	848,833
その他固定資産合計	1,895,483	1,046,650	848,833
固定資産合計	66,732,698	63,883,865	2,848,833
資産合計	89,804,644	86,116,925	3,687,719
II 負債の部			
1. 流動負債			

未払金	35,000	1,150,659	△ 1,115,659
前受金	5,213,835	5,034,000	179,835
預り金	0	510	△ 510
仮受金	426,000	564,000	△ 138,000
流動負債合計	5, 674, 835	6, 749, 169	△ 1, 074, 334
負債合計	5, 674, 835	6, 749, 169	△ 1, 074, 334
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	84, 129, 809	79, 367, 756	4, 762, 053
正味財産合計	84, 129, 809	79, 367, 756	4, 762, 053
負債及び正味財産合計	89, 804, 644	86, 116, 925	3, 687, 719

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	30,021,680	0	0	30,021,680
学術奨励基金	19,356,274	2,000,000	0	21,356,274
国際学術交流基金	13,459,261	0	0	13,459,261
合 計	62,837,215	2,000,000	0	64,837,215

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	30,021,680	0	(30,021,680)	0
学術奨励基金	21,356,274	0	(21,356,274)	0
国際学術交流基金	13,459,261	0	(13,459,261)	0
合 計	64,837,215	0	(64,837,215)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア（クレジット機能）	313,500	62,700	261,250	52,250
ソフトウェア（大会システム）	935,000	187,000	716,833	218,167
ソフトウェア（会員区分変更）	506,000	101,200	253,000	253,000
ソフトウェア（大会講演システム）	220,000	44,000	91,667	128,333
ソフトウェア（学会 Web サイト）	1,408,000	164,267	164,267	1,243,733
合 計	3,382,500	559,167	1,487,017	1,895,483

(3) 正味財産増減計算書（令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日）

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	16,244,000	16,490,000	△ 246,000
正会員会費	9,024,000	9,275,000	△ 251,000
学生会員会費	596,000	576,000	20,000
学部生会員会費	28,000	31,000	△ 3,000
外国会員会費	16,000	18,000	△ 2,000
準会員会費	1,380,000	1,440,000	△ 60,000
賛助会員会費	5,200,000	5,150,000	50,000
会報刊行収益	2,545,301	2,614,955	△ 69,654
頒布収益	2,334,001	2,539,855	△ 205,854
広告料収益	178,000	58,000	120,000
著者負担金益	33,300	17,100	16,200
事業収益	18,011,700	10,294,675	7,717,025
大会運営収入	12,604,500	6,313,000	6,291,500
部会収入	2,316,200	2,123,575	192,625
談話会・研究会収入	2,325,000	947,500	1,377,500
教育プログラム収入	766,000	910,600	△ 144,600
雑収益	2,159,901	235,360	1,924,541
預金利息	6,939	1,780	5,159
雑収益	2,152,962	233,580	1,919,382
経常収益計	38,960,902	29,634,990	9,325,912
(2) 経常費用			
会報刊行費	8,661,051	8,680,017	△ 18,966
印刷製本費	5,275,043	5,344,185	△ 69,142
編集費	3,386,008	3,335,832	50,176
事業支出	15,605,480	9,730,355	5,875,125
大会支出	10,422,820	5,291,450	5,131,370

部会支出	2,401,324	2,412,622	△ 11,298
談話会・研究会支出	1,945,110	1,055,325	889,785
教育プログラム支出	836,226	970,958	△ 134,732
学術奨励関係費	709,630	745,724	△ 36,094
情報電子化費	703,880	1,294,438	△ 590,558
HP 充実費	256,575	480,438	△ 223,863
情報維持費	447,305	814,000	△ 366,695
男女共同参画支援費	0	68,574	△ 68,574
ダイバーシティ推進支援費	0	0	0
負担金	687,326	665,660	21,666
男女共同参画学協会連絡会負担金	15,000	10,000	5,000
JABEE 負担金	50,000	50,000	0
日本農学会負担金	111,350	110,600	750
日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPPS) 負担金	360,976	345,060	15,916
事業運営費	2,356,380	715,814	1,640,566
会議費	227,380	137,622	89,758
旅費交通費	1,709,000	151,200	1,557,800
各種委員会関係費	420,000	426,992	△ 6,992
管理費	5,475,102	5,241,131	233,971
通信運搬費	456,781	341,088	115,693
消耗品費	17,098	44,038	△ 26,940
事務管理費	3,190,000	3,190,000	0
減価償却費	559,167	394,900	164,267
印刷費	147,290	147,290	0
外部会計監査費	286,274	286,274	0
雑費	818,492	837,541	△ 19,0495
経常費用計	34,198,849	27,141,713	7,057,136
評価損益等調整前当期経常増減額	4,762,053	2,493,277	2,268,776
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,762,053	2,493,277	2,268,776
2. 経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,762,053	2,493,277	2,268,776
一般正味財産期首残高	79,367,756	76,874,479	2,493,277
一般正味財産期末残高	84,129,809	79,367,756	4,762,053
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	84,129,809	79,367,756	4,762,053

(4) 財産目録（令和6年12月31日現在）

		(単位：円)	
貸借対照表科目		場所・物量等	金 額
(流動資産)			
	現金	手元保管	88,502
	預金	普通預金	13,958,734
		三井住友銀行白山支店	5,146,322
		三菱 UFJ 銀行駒込支店	3,356,622
		PayPay 銀行	2,883,567
		SMBC 信託銀行	2,519,123
		振替貯金	3,814,289
	未収金		689,000
	前払金		360,976
	仮払金		4,213,545
	総会・大会		4,213,545
流動資産合計			23, 071, 946
(固定資産)			
特定資産			
	学術事業安定化基金		30,021,680
		三井住友銀行白山支店	6,000,000
		三菱 UFJ 銀行駒込支店定期	21,964,287
		三井住友銀行白山支店定期	51,393
		PayPay 銀行定期	2,006,000
	学術奨励基金		21,356,274
		三井住友銀行白山支店定期	17,027,595
		PayPay 銀行定期	4,328,679
	国際学術交流基金		13,459,261
		三井住友銀行白山支店定期	8,446,584
		PayPay 銀行定期	5,012,677
その他固定資産			
	ソフトウェア		1,895,483
固定資産合計			66, 732, 698
資産合計			89, 804, 644
(流動負債)			
	未払金		35,000
	前受金		5,213,835
	正会員		5,068,000
	学生会員		105,835
	学部生会員		4,000
	外国会員		6,000
	その他		30,000
	仮受金		426,000
流動負債合計			5, 674, 835
負債合計			5, 674, 835
正味財産			84, 129, 809

3. 監事監査報告

一般社団法人日本植物病理学会

代表理事（会長） 一瀬 勇規 殿

一般社団法人日本植物病理学会の定款第 24 条の規定に基づき、令和 6 年度の事業報告ならびに会計報告、理事の職務遂行について監査を行いましたので、以下の通り報告します。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事および幹事、学会事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、会計帳簿又はこれに関する調査等を実施して、当該事業年度における事業、財産等の状況について、調査いたしました。

また、令和 6 年度当学会収支決算について、令和 7 年 2 月 4 日に岡田事務所 岡田 茂公認会計士の監査を受け、計算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の令和 6 年 12 月 31 日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受け取りました。

以上に基づき、当該事業年度に係る事業報告ならびに会計報告（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令および定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 会計報告の監査結果

計算書類は、学会の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 7 年 2 月 4 日

一般社団法人 日本植物病理学会

監事 濱本 宏 (印)

監事 大島 研郎 (印)

監事 渡辺 京子 (印)

4. 学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP（英文誌）							日植病報（和文誌）				
	1 号 1 月	2 号 3 月	3 号 5 月	4 号 7 月	5 号 9 月	6 号 11 月	計	1 号 2 月	2 号 5 月	3 号 8 月	4 号 11 月	計
[ページ数内]												
総説	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
テクニク	—	—	—	7 (1)	—	5 (1)	12 (2)	—	—	—	—	—
原著論文	49 (5)	51 (4)	38 (4)	32 (3)	49 (4)	55 (5)	274 (25)	17 (2)	15 (2)	12 (1)	20 (2)	64 (7)
短報	—	—	—	5 (1)	10 (2)	—	15 (3)	—	5 (1)	—	—	5 (1)
病害短信	17 (3)	4 (1)	9 (2)	12 (2)	4 (1)	—	46 (9)	—	—	—	—	—
論文総ページ	66 (8)	55 (5)	47 (6)	56 (7)	63 (7)	60 (6)	347 (39)	17 (2)	20 (3)	12 (1)	20 (2)	69 (8)
講演要旨（会長・授賞者）	—	—	—	—	—	23 (7)	23 (7)	—	—	19 (7)	—	19 (7)
講演要旨（令和6年度大会）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81	—	81
講演要旨（令和5年度部会）	—	—	—	—	—	—	—	49	—	—	—	49
本会記事	—	—	—	—	—	—	—	8	23	1	2	34
その他	1 (1)	1 (1)	1 (1)	—	—	1 (1)	4 (4)	4	—	4	—	8
計	67 (9)	56 (6)	48 (7)	56 (7)	63 (7)	84 (14)	374 (50)	78 (2)	43 (3)	117 (8)	22 (2)	260 (15)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	10
会則・規程	—	—	—	—	—	—	—	43	—	—	—	43
学会ニュース	—	—	—	—	—	—	—	3	8	7	10	28
その他	—	—	—	—	—	—	—	5	7	2	12	26
計	0	0	0	0	0	0	0	51	15	9	32	107
[総計]	67	56	48	56	63	84	374	129	58	126	54	367

() は論文数

第 2 号議案 評議員選挙規定の一部改正（案）承認の件

当法人における評議員選挙規定第 3 条第 2 項について、事業年度についての説明が不十分であるため。

評議員選挙規程

現行	改正（案）
（選挙権と被選挙権） 第 3 条 この選挙の選挙権，被選挙権は正会員及び学生会員が有する。 2 正会員及び学生会員であっても事業年度の 4 月 1 日時点で 65 歳に達している者は被選挙権を有しない。	（選挙権と被選挙権） 第 3 条 この選挙の選挙権，被選挙権は正会員及び学生会員が有する。 2 正会員及び学生会員であっても<u>選挙の実施される</u>事業年度の 4 月 1 日時点で 65 歳に達している者は被選挙権を有しない。 （被選挙権を有する年齢を明確にするため変更）
附則 1. この規程は，2020 年 4 月 1 日から施行する。	附則 1. この規程は，2020 年 4 月 1 日から施行する。 2. この規程は，2025 年 4 月 1 日から施行する（令和 7 年度定時総会（2025 年 3 月 26 日）において，第 3 条第 2 項を修正）。 （修正日を追加）

第3号議案 令和7年度役員（理事及び監事）選任の件

令和7年度の役員候補者は、以下の通りです。

- (1) 役員候補者選出規程第3条の規定による「理事候補者（次期会長候補者）」

高橋英樹

- (2) 役員候補者選出規程第4条の規定による「理事候補者（次期副会長候補者）」

眞岡哲夫

- (3) 役員候補者選出規程第2条第2項の規定による「理事候補者」

秋野聖之、藤 晋一、兼松聡子、吉田重信、有江 力、
平塚和之、須賀晴久、高野義孝、児玉基一郎、竹下 稔

報告事項 第1号 令和7年度事業計画書ならびに収支予算書

1. 行事案

- (1) 学会報（英文誌第91巻1～6号、和文誌第91巻1～4号）を発行する。
- (2) 大会、部会、談話会、研究会等を開催する。
- 1) 大会：令和7年3月26～28日 サンポート高松（高松市）
 - 2) 第5回日韓シンポジウム：令和7年3月25日 サンポート高松（高松市）
 - 3) 北海道部会：令和7年10月9～10日 北海道大学（札幌市）
 - 4) 東北部会：令和7年9月18～19日 秋田県立大学（秋田市）
 - 5) 関東部会：令和7年9月11～12日 東京農工大学（府中市）
 - 6) 関西部会：令和7年9月18～19日 京都大学（京都市）
 - 7) 九州部会：令和7年11月20～21日 沖縄県立博物館（那覇市）
 - 8) 第16回植物ウイルス病研究会：令和7年3月29～30日 倉敷市美術館（倉敷市）
 - 9) 第34回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム：令和7年3月29日 サンポート高松（高松市）
 - 10) 第24回植物病原菌類談話会：令和7年3月28日 サ

ンポート高松（高松市）

- 11) 第59回植物感染生理談話会：令和7年9月3日～5日 鳥取大学（鳥取市）
 - 12) 令和7年度植物病害診断研究会：令和7年秋予定 開催場所未定
 - 13) 令和7年度EBC研究会：令和7年秋予定 開催場所未定
 - 14) 第19回植物病害診断教育プログラム：令和7年秋予定 九州大学（福岡市）
- (3) 定時総会：令和7年3月 令和6年度事業報告・決算承認および令和7年度理事選任
- 理事会：令和7年度第1回（令和7年2月）定時総会議案審議
- 令和7年度第2回（令和7年3月）代表理事選任
- 令和7年度第3回（令和7年11月）令和8年度事業計画・予算承認
- 評議員会：令和7年度第1回（令和7年2月）定時総会議案審議
- 令和7年度第2回（令和7年3月）令和7年度委員等選任
- 令和7年度第3回（令和7年11月）令和8年度事業計画・予算承認
- (4) 学会賞、学術奨励賞、論文賞等の選考を行う。
 - (5) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。
 - (6) 名誉会員、永年会員の推挙を行う。
 - (7) 令和8年度理事候補者（次期副会長候補者）および令和8～9年度の監事候補者の選出を行う。
 - (8) 令和8年度理事候補者（次期会長候補者、次期副会長候補者）を総会へ推薦し、次期会長候補者、次期副会長候補者として理事会への推薦を行う。
 - (9) 令和8～9年度評議員候補者の選出を行う。
 - (10) 日本農学賞、日本農学進歩賞、日本学術振興会賞等の受賞候補者の推薦を行う。
 - (11) その他

2. 予算案

(1) 一般会計収支予算書（令和 7 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日まで）

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	16,325,000	16,577,000	△ 252,000
正会員会費収入	9,149,000	9,415,000	△ 266,000
学生会員会費収入	563,000	527,000	36,000
学部生会員会費収入	32,000	30,000	2,000
外国会員会費収入	16,000	30,000	△ 14,000
準会員会費収入	1,365,000	1,425,000	△ 60,000
賛助会員会費収入	5,200,000	5,150,000	50,000
会報刊行収入	2,533,000	2,613,000	△ 80,000
頒布収入	2,340,000	2,540,000	△ 200,000
広告料収入	178,000	58,000	120,000
著者負担金収入	15,000	15,000	0
事業収入	21,399,000	16,750,000	4,649,000
大会運営収入	16,088,000	10,620,000	5,468,000
部会収入	2,568,000	2,342,000	226,000
談話会・研究会収入	1,753,000	2,870,000	△ 1,117,000
教育プログラム収入	990,000	918,000	72,000
雑収入	203,000	202,000	1,000
預金利息収入	3,000	2,000	1,000
雑収入	200,000	200,000	0
事業活動収入計	40,460,000	36,142,000	4,318,000
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	9,195,000	8,995,000	200,000
印刷製本費支出	5,395,000	5,345,000	50,000
編集費支出	3,800,000	3,650,000	150,000
事業支出	22,345,000	17,582,000	4,763,000
大会支出	16,088,000	10,620,000	5,468,000
部会支出	2,542,000	2,527,000	15,000
談話会・研究会支出	2,343,000	3,336,000	△ 993,000
教育プログラム支出	1,372,000	1,099,000	273,000
学術奨励関係費支出	705,000	750,000	△ 45,000
国際学術交流費支出	400,000	300,000	100,000
情報電子化費支出	824,000	1,122,000	△ 298,000
HP 充実費支出	10,000	430,000	△ 420,000
情報維持費支出	814,000	692,000	122,000

ダイバーシティ推進支援費支出	400,000	400,000	0
広報費支出	100,000	0	
負担金支出	695,000	630,000	65,000
男女共同参画学協会連絡会負担金支出	15,000	10,000	5,000
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	120,000	120,000	0
植物保護科学連合負担金支出	0	0	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金支出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	360,000	300,000	60,000
事業運営費支出	1,900,000	1,020,000	880,000
会議費支出	200,000	250,000	△ 50,000
旅費交通費支出	200,000	300,000	△ 100,000
各種委員会関係費支出	1,500,000	470,000	1,030,000
管理費支出	4,980,000	5,010,000	△ 30,000
通信運搬費支出	400,000	400,000	0
消耗品費支出	70,000	100,000	△ 30,000
事務管理費支出	3,190,000	3,190,000	0
印刷費支出	150,000	150,000	0
外部監査管理費支出	300,000	300,000	0
雑支出	870,000	870,000	0
事業活動支出計	41,544,000	35,809,000	5,735,000
事業活動収支差額	△ 1,084,000	333,000	△ 1,417,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
学術事業安定基金取得支出	0	0	0
学術奨励基金取得支出	0	0	0
国際学術交流基金取得支出	0	0	0
固定資産取得支出	0	1,656,000	△ 1,656,000
投資活動支出計	0	1,656,000	△ 1,656,000
投資活動収支差額	0	△ 1,656,000	1,656,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 1,084,000	△ 1,323,000	233,000
前期繰越収支差額	13,108,989	14,686,731	△ 1,577,742
次期繰越収支差額	12,024,989	13,363,731	△ 1,338,742

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会報第 91 巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように岩手大学と秋田県立大学にて行う。

編集事務局：岩手大学農学部

編集委員長：磯貝雅道 (岩手大学)

編集副委員長：藤 晋一 (秋田県立大学)

編集幹事長：八重樫元 (岩手大学)

印刷：英文誌 Springer Nature Singapore Pte Ltd.
和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1 号 1 月, 2 号 3 月, 3 号 5 月,
4 号 7 月, 5 号 9 月, 6 号 11 月
和文誌 1 号 2 月, 2 号 5 月, 3 号 8 月,
4 号 11 月

(2) 投稿要領

原稿は投稿規程・細則に従って作成し、和文誌については、編集副委員長 (藤 晋一, jgppjp@iwate-u.ac.jp) 宛にメール送付すること。

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

一般社団法人 日本植物病理学会 令和 7 年度第 2 回理事会議事録

日時：令和 7 年 3 月 26 日 (水) 午前 9:40～9:55

開催場所：サンポート高松 〒760-0019 香川県高松市
サンポート 2-1

出席者

理事：高橋英樹, 眞岡哲夫, 兼松聡子, 吉田重信, 有江

力, 平塚和之, 須賀晴久, 高野義孝, 竹下 稔

以上理事 9 名 (現員 12 名, 欠席者 3 名：秋野聖之, 藤
晋一, 児玉基一郎)

監事：大島研郎, 三田 (渡辺) 京子

以上監事 2 名 (現員 3 名, 欠席者 1 名：濱本 宏)

オブザーバー：一瀬勇規, 染谷信孝, 佐々木信光, 富高保
弘, 埋橋志穂美, 北沢優悟, 加藤 寛 (幹事 7 名)

審議事項：

第 1 号議案 代表理事 (会長および副会長) の選定の件

報告事項

第 1 号 代表理事の職務執行状況の報告

第 2 号 令和 7 年度 第 1 回理事会議事録の確認

議事経過の概要

定刻になり、理事 9 名, 監事 2 名が参加していることを確認した。

高橋英樹理事より、本理事会は、欠席者も含む理事及び監事全員から同意があったため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 94 条第 2 項に基づき、召集の手続を経ることなく開催することになった旨の報告があった。

理事 9 名の互選により、高橋英樹氏が議長となった。挨拶の後、理事および監事の出席数から、定款 33 条の規定を満たしており、本会の成立を報告した。

1. 第 1 号議案 代表理事 (会長および副会長) の選定の件
議長の指示により、前会長の一瀬勇規氏より、定款第 29 条および役員候補者選出規程第 3 条の規定により、理事会に代表理事 (会長) として高橋英樹氏を推薦し選定したきこと、また、役員候補者選出規程第 4 条の規定により、代表理事 (副会長) として眞岡哲夫氏を推薦し選定したきことが説明された。

審議の後、議長が本件の承認を求めたところ、出席理事は全員異議なくこれに賛成の意を示したので、本議案は原案どおり承認可決された。高橋英樹氏ならびに眞岡哲夫氏も、それぞれ席上就任を承諾したので、代表理事 (会長) ならびに代表理事 (副会長) の選定を確定した。

2. 報告事項

議長より、職務の執行状況として、令和 7 年度の事業計画に沿って遅滞なく事業計画を進めていることが説明された。また、議長の指示により、オブザーバーの染谷信孝氏より令和 7 年度第 1 回理事会議事録の報告が行われた。

以上をもって、本理事会は終始異状無く議事を終了したので、議長は閉会を宣言し、午前 9:55 散会した。

上記の事項を明確にするため、議長が本議事録を作成し、出席代表理事 2 名 理事 7 名および監事 2 名の全員がこれに記名押印する。

令和 7 年 3 月 26 日

一般社団法人 日本植物病理学会

代表理事 (会長)	高橋英樹
代表理事 (副会長)	眞岡哲夫
監事	大島研郎
監事	三田 (渡辺) 京子
理事	兼松聡子
理事	吉田重信
理事	有江 力
理事	平塚和之

理事	須賀晴久
理事	高野義孝
理事	竹下 稔

日本植物病理学会 令和7年度第2回評議員会議事録

日 時：2025年3月27日（木）12:30～13:40

場 所：サンポート高松 第3会場（54会議室）

出席者

評議員：

秋光和也, 秋野聖之, 有江 力, 中馬いづみ, 藤 晋一, 古屋成人, 萩原寛之, 濱本 宏, 長谷 修, 曳地康史, 平田久笑, 平塚和之, 一瀬勇規, 磯貝雅道, 海道真典, 兼松聡子, 小林括平, 草場基章, 三瀬和之, 森山裕充, 中保一浩, 大里修一, 大島研郎, 大藤泰雄, 佐藤 衛, 清水将文, 篠原弘亮, 塩見 寛, 須賀晴久, 竹本大吾, 竹下 稔, 東條元昭, 土佐幸雄, 津田新哉, 山次康幸, 吉田重信, 渡辺京子, 善林 薫, 高橋英樹会長, 眞岡哲夫副会長, 佐々木信光庶務幹事長

以上評議員41名（定員53名, 欠席者12名：青木孝之, 稲田 稔, 児玉基一朗, 増田 税, 守川俊幸, 中島千晴, 志村華子, 鈴木信弘, 相馬 潤, 高垣真喜一, 高野義孝, 柘植尚志）

幹事：

染谷信孝前庶務幹事長, 松下陽介庶務副幹事長, 富高保弘前庶務幹事, 埋橋志穂美庶務幹事, 藤本岳人庶務幹事, 北沢優悟前会計幹事, 加藤 寛会計幹事, 浦山俊一副会計幹事

I. 審議事項

1. 第1回評議員会議事録の確認

第1回評議員会議事録が確認され, 承認可決された。

2. 令和7年度日本学術振興会賞受賞候補者の選定について

令和7年度日本学術振興会賞受賞候補者に石橋和大氏を推薦することが承認可決された。

3. 令和7年度役員および委員の選任について

令和7年度役員および委員の選任について資料に基づいて説明され, 承認された。山次元学会運営方針諮問委員長より, 学会運営方針諮問委員会解散の経緯について説明され, 承認可決された。

4. 令和8年度日本植物病理学会大会の開催地・時期について

海道評議員より令和8年度日本植物病理学会大会は, 令和8年3月26日（木）～28日（土）, 摂南大学枚方キャンパスにて開催することが報告され, 承認された。

5. 令和10年度日本植物病理学会大会の開催ブロックの確認

令和10年度日本植物病理学会大会の開催ブロックについて, 輪番制により令和10年度は九州地区であることが説明され, 承認された。

九州地区竹下理事より秋の評議員会までには開催地等を決定する予定が説明された。

6. 賞選考に係る授賞細則の改訂について

賞選考に係る受賞細則の改訂については, 令和6年度第4回評議員会にて検討内容を紹介していたところであったが, それに基づき作成された細則改定案について説明された。特に, 自薦他薦については自分を含め1名のみ推薦可能であることが確認され, 承認された。

最後に, この承認に基づき今後賞選考が行われること, 令和7年度賞選考への協力を評議員に改めて求めた。

7. 農学進歩賞の選定方法について

農学進歩賞の選定方法について, 男女各1名の推薦枠があることから, 男女別に選考する方法へ変更すること等について説明され, 承認された。

8. 旅費細則の改訂について

旅費細則の改定について説明され, 承認された。

9. 国際化対応委員会からの提案

曳地国際化対応委員長より, 下記3点について説明, 提案があった。

(1) 2030年アジア植物病理学会について主に下記の点が説明された。

- ・日本開催が求められており, 受入れるか否かを決定する必要がある。
- ・受け入れる場合, 次回2027年開催予定のハノイ大会でプレゼンをする必要がある。
- ・2030年に日本で開催する場合, アジア植物病理学会の副会長を2027年から3年間, その後会長を2030年から3年間を日本から選出する必要がある

(2) 日韓シンポジウムについて, 今後の開催の必要性も含めた検討の必要性が提案された。

(3) 国際学会参加助成について, 特に若手研究者の研究促進のほか, 国際学会対応が可能な人材の育成も目的とし, 国際学会への積極的な参加を促すためにも必要性が提案された。

これらの点について, (1), (2) については, 幹事会, 将来問題検討委員会, 国際化対応委員会を軸として対応委員会を立ち上げることが提案され, 承認された。

(3) については, 予算に見合う範囲で対応することが承認された。なお, 今年度については, 現状約25万円を助成に充てることが可能であることが説明された。

10. JGPP のオープンアクセス化について

JGPP のオープンアクセス化について、この場では何かを決定する必要はないとしたうえで、現状が説明された。

評議員、編集委員長、JGPP 原著編集委員、編集幹事長、編集幹事を対象として実施したアンケート結果について説明。特に JGPP の査読に対する意見として挙げられていた「原著編集委員、レビューワー、投稿者が共に日本人である場合、審査のやり取りを日本語でできるようにしてほしい」との意見については、国際誌としては英語のレビューが必須であることが説明された。また、今後の予定について、将来問題検討委員会での審議を経て、一般会員と賛助会員へのアンケート予定していることが説明された。

また、磯貝編集委員長より、編集委員会の意見として、IF を上げて世界に発信できるジャーナルにした方が良いとの意見が多いことが報告された。

11. その他

海道評議員より、次回大会開催場所である摂南大学より、本学会と共催にすることで会場費を無料にできる旨提案があったことが連絡された。共催については、評議員会での承認が必要なことから、本事項について審議し、特に異論なく承認された。

なお、共催等については原則事前手続きが必要なこと、主催、共催については評議員会での承認、協賛、後援については幹事会で決定することなどが確認された。但し、本手続きは第3者からの依頼を想定したものであり、今後は運用方針を明確にする必要性がある。

II. 報告事項

1. 編集委員会からの報告

磯貝編集委員長より、レフェリーに対する感謝状の贈呈について報告された。

また、日本植物病理学会報の投稿数が減少していることから、対応案の検討が求められていたことについて、藤編集副委員長より、教育プログラム担当者への執筆依頼、論文賞受賞者へ和文レビューの執筆依頼、また、名誉会員等によるレビューの記載等が検討されていることが報告された。また、出来ることから編集委員会の裁量で進めて行く方針に対して理解を求めた。

2. ダイバーシティ推進委員会からの報告

中馬委員長より、本大会での託児所利用者が2名であったこと、大会中に開催されたダイバーシティ推進セミナーの開催状況について、出席者は95名、5名の若手研究者を招いたディスカッションが行われ、アンケート結果から非常に好評であったことが報告された。

3. 大会開催における北海道地区の輪番制について

北海道地区秋野評議員より、大会開催の輪番制に関する北海道地区での検討状況が説明された。北海道部会総会において、構成人数の減少によりこれまで通りの大会開催は厳しいことから、何らかの対応をいただきたいとの意見があったことを受け、北海道地区の評議委員会で検討し、下記2点について要望があったことが報告された。

- ・北海道地区として、今後も本問題を評議員会で共有していただき、今後将来問題検討委員会、評議員会で対応を検討いただければありがたい。
- ・ローテーションの変更ではなく、状況によって担当の延期や他の地域からの援助を求めたい。

4. 種子病理研究会の認定に係る規程改訂の検討について

種子病理研究会の認定について、現行規程では談話会及び研究会について名前が明記されていることから、新たに研究会等を追加する場合には総会での承認が必要となることが説明された。この状況への対応として、当該規程を改訂し細則とすることで追加等の対応を評議員会の承認をもって実施可能とすることが提案され、そのため次回評議員会で規定改訂および細則への追記について承認いただきたい旨が伝えられた。

また一瀬前会長より、種子病理研究会に植物病理学会非会員も含まれていることから、会員になってもらうよう働きかけていることが報告された。

5. 各談話会の事務局・責任者の明確化について

各談話会の事務局・責任者について幹事会で把握はしているものの、会によっては持ち回り開催しているところもあり、幹事会からの連絡が取りにくい状況になる場合があることが説明された。今後、将来問題検討委員会で各談話会の事務局・責任者を明確化することについて検討することが報告された。

6. 賞状の定型文化について

賞状を定型文化することについて、今回これまで毛筆だったところを印刷へ変更し効率化を図ってきており、文面についても今後簡略化し定型文化することで効率化することを検討していることについて説明された。

7. 日本学術振興会育志賞受賞候補者の募集について

日本学術振興会育志賞受賞候補者の募集について、今回推薦してほしいとの依頼があったこともあり、近々会員メールで募集について配信予定であることが報告され、積極的な応募を求めた。

8. その他

渡辺評議員より、日本学術会議について法人化することが閣議決定される見込みであることが説明された。法人化

については、第二部（生命科学系）では、その条件として、研究者が勧告できること、自分たちで運営できること、メンバーを自分たちで選出できること、等を望んでいたものの、最終提案ではこれらの要望が含まれていなかったことから、今後の対応について、4月に総会を開催して検討する予定であることが報告された。

令和7年度役員および委員

会 長 高橋英樹

副会長 眞岡哲夫

評議員（◎理事）

北海道地区 ◎秋野聖之 増田 税 相馬 潤

東北地区 ◎藤 晋一 磯貝雅道 高橋英樹
長谷 修

北関東地区 ◎兼松聡子 ◎吉田重信 眞岡哲夫
中保一浩 大藤泰雄 善林 薫
青木孝之

南関東地区 ◎有江 力 ◎平塚和之 渡辺京子
山次康幸 大島研郎 濱本 宏
森山裕充 篠原弘亮 津田新哉
大里修一

中部地区 ◎須賀晴久 平田久笑 竹本大吾
中島千晴 柘植尚志 清水将文

近畿地区 ◎高野義孝 三瀬和之 東條元昭
土佐幸雄 海道真典

中国・四国地区 ◎児玉基一郎 一瀬勇規 秋光和也
曳地康史 鈴木信弘 小林括平

九州地区 ◎竹下 稔 草場基章 古屋成人
稲田 稔

会長指名 萩原寛之 塩見 寛 高垣真喜一
佐藤 衛 志村華子 中馬いづみ
守川俊幸

会計監査 濱本 宏 大島研郎 渡辺京子

原著編集委員（◎委員長，○副委員長）

◎磯貝雅道 ○藤 晋一 秋庭満輝
秋野聖之 Ceresini, P.

Chattopadhyay, A. 千葉壮太郎

Dietzgen, R. Dou, D. 藤原和樹

日恵野綾香 平田久笑 廣岡裕史

飯山和弘 兼松聡子 川部眞登

Kormelink, R. 久保田健嗣

串田篤彦 Lee, B.-C. Li, S.

前島健作 三澤知央 中原健二

猫塚修一 登 達也 越智 直

岡野夕香里 菅原幸哉 田中和明
津田賢一 辻 元人 達 瑞枝
Yun, S.-H.

賞選考委員（◎委員長）

◎高橋英樹 眞岡哲夫 一瀬勇規
平塚和之 児玉基一郎 曳地康史
兼松聡子

功績者推薦委員（◎委員長）

◎平塚和之 一瀬勇規 増田 税
柘植尚志

選挙管理委員（◎委員長）

◎津田新哉 山次康幸 染谷信孝

病名委員（◎委員長）

◎佐藤 衛 秋野聖之 藤 晋一
廣岡裕史 井上康宏 窪田昌春
升屋勇人 松下範久 三澤知央
望月知史 森脇丈治 小野 剛
笹谷孝英 関根健太郎 篠原弘亮
菅原 敬 菅原幸哉 須崎浩一
田中栄爾 達 瑞枝 植原健人
埋橋志穂美 山内智史

幹 事

庶務幹事長 佐々木信光

庶務副幹事長 松下陽介

庶務幹事 埋橋志穂美 藤本岳人

会計幹事 加藤 寛

副会計幹事 浦山俊一

編集幹事長 八重樫元

編集幹事 藤崎恒喜 平山和幸 岩舘康哉

キム オッキョン 近藤 亨

湊 菜未 直井 崇 大木健広

岡田 亮 佐々木厚子 須崎浩一

戸田 武

専門委員会（◎委員長）

学会ニュース編集委員会

◎守川俊幸 佐々木信光 松下陽介
埋橋志穂美

植物ウイルス分類委員会

◎藤 晋一 鈴木信弘 畑谷達児
岩波 徹 鍵和田聡

キム オッキョン 薦田優香

近藤秀樹 久保田健嗣 望月知史

笹谷孝英 津田新哉 山次康幸

国際化対応委員会

◎曳地康史 濱本 宏 有江 力
平塚和之 秋野聖之 須賀晴久
秋光和也 高野義孝

将来問題検討委員会

◎高橋英樹 眞岡哲夫 佐々木信光
松下陽介 加藤 寛 埋橋志穂美
秋光和也 磯貝雅道 志村華子
中原健二 宮下脩平 一瀬勇規
染谷信孝

教育プログラム推進委員会

◎眞岡哲夫 埋橋志穂美 平塚和之
古屋成人 中原健二

技術士対応委員会

◎濱本 宏 松下陽介 浦山俊一
山次康幸 藤川貴史 渡邊 健
柏森美如

5 学会技術士育成推進委員会

◎山次康幸 浦山俊一 佐藤 衛
鍵和田聡

ダイバーシティ推進委員会

◎中馬いづみ 志村華子
岡野夕香里 荒添貴之 峯 彰
前島健作 浅野峻介 湊 菜未
善林 薫 古田明子

広報委員会

◎石橋和大 埋橋志穂美 藤川貴史
深田史美 晝間 敬 宮下脩平
志村華子 坂田七海 都築正行

部会長

北海道部会長 奈良部孝
東北部会長 田中和明
関東部会長 有江 力
関西部会長 小林括平
九州部会長 菅 康弘

日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員

日本農学会 評 議 員 高橋英樹 眞岡哲夫
運営委員 佐々木信光

日本微生物学連盟 理事
日本植物保護科学連合運営委員会

高橋英樹

佐々木信光 浦山俊一

日本学術会議 第二部会員
連携会員

渡辺京子
吉田重信

財団法人農学会 農学技術者教育推進委員会

濱本 宏

国際微生物連合 (IUMS)

対応委員 一瀬勇規

ウイルス分類委員 鈴木信弘

細菌対応委員 瀧川雄一

国際植物保護科学会東北アジア地区 理事 有江 力

国際植物病理学会 (ISPP)

Council Members 秋光和也 有江 力 高橋英樹
一瀬勇規

Correspondent for Newsletter 高橋英樹

Members of Committee

Bacteriology 一瀬勇規

Epidemiology 川口 章

Fusarium 青木孝之

Phytophthora 東條元昭

Rhizoctonia 荒川征夫

Soilborne Plant Pathogens 穴戸雅宏

令和7年度大会運営委員会

大 会 委 員 長：秋光和也

大 会 副 委 員 長：森 充隆 生咲 巖

プログラム委員長：五味剣二

大会事務局：市村和也 望月 進

運営委員：鮎川 侑 上野 誠 大崎久美子 大西浩平

片山貴博 上中弘典 北沢優悟 河野洋治 木戸一孝

木原淳一 木場章範 桐野菜美子 児玉基一朗

小林括平 近藤秀樹 坂田七海 佐々木一紀

下元祥史 鈴木信弘 竹村知夏 都筑正行 豊田和弘

西村文宏 能年義輝 林 一沙 曳地康史 兵頭 究

深田史美 松井英讓 森田剛成 八丈野孝 米本謙悟

(50 音順)

名誉会員および永年会員

名 誉 会 員

阿久津克己	道家紀志	日比忠明	平野和弥	本田雄一	堀野 修	百町満朗	稲葉忠興	加来久敏
加藤 肇	川北一人	小島 誠	久能 均	桑田 茂	松山宣明	眞山滋志	難波成任	夏秋啓子
夏秋知英	生越 明	大木 理	奥田誠一	奥野哲郎	大内成志	佐古宣道	四方英四郎	白石友紀
高橋賢司	土屋健一	土崎常男	露無慎二	上田一郎	山田昌雄	米山勝美		

(会員番号順)

永 年 会 員

秋本正信	舟山広治	原田幸雄	部田英雄	平塚利子	本藏良三	堀江博道	一谷多喜郎	家城洋之
池上八郎	稲垣公治	井上成信	石島 嶺	伊藤進一郎	岩田道顕	門脇義行	要 司	金子俊彦
神澤克一	粕山新二	勝部利弘	菊本敏雄	木村俊夫	小林尚志	児玉不二雄	久保 進	牧野 精
牧野孝宏	益子道生	松本 勲	松本 勤	宮島邦之	森田 昭	諸見里善一	本吉總男	名畑清信
内藤秀樹	根本正康	賛田裕行	西口正通	西村典夫	野村幸彦	小川 奎	大橋祐子	大沢高志
太田光輝	岡本 博	大村敏博	大島俊市	尾崎政春	坂本 庵	柴田幸省	下村 徹	周藤靖雄
但見明俊	高桑 亮	玉田哲男	田中秀平	丹田誠之助	鳥山重光	土屋貞夫	宇田川晃	植松 勉
宇杉富雄	渡邊恒雄	山本孝彦	吉村大三郎	善林六朗				

(会員番号順)